

「NIE 生徒研究発表会」(企画委員会企画) 14:30-16:10

近年、「総合的な探究の時間」など、高校での探究的な学びが盛んになされるようになっており、高校生の探究活動をサポートする動きがある。

例えば、SSH(スーパーサイエンスハイスクール)での「課題研究」では、JST(科学技術振興機構)による生徒研究発表会が開催され文部科学大臣による表彰がおこなわれるとともに、大学や研究所の専門家によるアドバイスがなされ、科学技術人材の育成に貢献している。他にも、日本獣医学会「サイエンスファーム」という高校生発表企画を2021年の学会大会で企画実施する等、自然科学系を中心にこうした動きは顕著である。

一方で、人文社会科学系ではこうした動きは管見では見られない。

そこで、小中高等学校で昨今の探究的な学びに先行して新聞やニュースなどを利用し、児童生徒の探究的な学びの開発と実践・研究に取り組んできた日本NIE学会が、高校生の探究的な学びをサポートする役割を果たし、将来の市民社会を支える主体的に学ぶ力やメディア・リテラシーを備えた市民の育成と探究的な学びの拡充と深化とに貢献してはどうかと考えた。

こうしたことが可能かどうかを検証するために、2019年鳴門大会、2020年東京大会、2021年京都大会で高校生の研究発表を企画実施してきた。この結果、学会員による指導や支援があれば十分可能であるとわかった。

なお、高校では、自然科学系の探究的な学びや課題研究をおこなう生徒への専門家によるサポートや発表機会は十分にあるものの、人文社会科学系では高大連携の仕組みがなければ「無い」というのが実感である。

以上の問題意識に基づいて、大会での高校生探究活動「NIE 生徒研究発表会」を開催する(なお、8月9日に高校生探究活動「NIE 生徒研究発表会」プレ大会を開催し、発表校9校はブラッシュアップ案を企画委員会からのアドバイスとともに9月中旬を目処に作成する等の取り組みを行った)。

大会当日は生徒による発表15分+質疑応答など5分で、企画委員会が依頼した学会員により審査し、下記の賞を授与する。

日本NIE学会賞(最優秀)、優秀研究賞(優秀)、研究奨励賞(その他参加校全校)